

Date:2014/11/25

橋梁とダムサイト予定地に感嘆の声響く！

先輩の説明に耳を傾け、スケールの大きさに感動

—石川高専・都市環境工学科3年次生が利賀ダム現場を見学—



11月5日(水)快晴の中、石川工業高等専門学校3年次生徒40名が鈴木・和田先生の引率により、紅葉真っ盛りの利賀ダムの工事現場見学に訪れました。

今回は、現場の魅力などを体感してもらうとともに今後の進路を決めるうえで参考にしてもらうため、橋梁現場を中心に次の4箇所を見学してもらいました。

① 下島大橋上部の現場では、現在最終段階に差しかかっている中、施工会社の2名の高専の先輩から、橋梁構造や施工方法などの説明を受けました。その後、工事用エレベータで桁の上に移動し施工状況を見学しました。高所から見る現場のスケールの大きさに学生の驚きの声が利賀の谷間にこだましていました。



先輩の話をしっかり傾聴



エレベータで上空へGo！

② 昨年10月に完成した利賀湖面橋では、下部工事の工法説明をはじめ、上部工のアーチ橋における鋼橋とPC橋の構造特性について説明を受けた後、高さ80mからの眺めに興奮し、記念撮影などに興じていました。



工事と橋梁の説明を聞いた



思い出の写真を撮るぞ

③ 赤松谷のダムサイト予定地では、9段の高さ90mの法枠法面を仰ぎ見たり、基岩である花崗閃緑岩の硬さを実感した様子。約2億年前のジュラ紀との説明に「恐竜の化石はないの？」との質問に「堆積岩ではなく火成岩なので化石は出ないよ」との回答に少し残念そうでした…。

④ 庄川橋梁の現場では、少し暗くなった右岸作業構台の上から、来年度から始まる上部工架設方法について説明を受け、早く架設を見てみたい様子でした。



真剣に説明を聞く



綺麗な岩石ダネ。化石は？



夕闇の迫る中で視察

今回の見学会では、最初は静かな学生たちも次第に元気になり、先輩からの説明や雄大でダイナミックな利賀の現場を満喫した秋の一日でした。
学生皆さんの今後の勉学や進路に役立てていただければ幸いです。